

## 自然学習講座

テーマ：五感で楽しむ春の植物”感”察

日時：令和5年4月8日(土) 13時から15時まで(雨天決行)

講師：山本 正臣 (自然画家・流木造形作家)

参加費：無料 定員：30人 (対象：小学3年生以上)

申込開始：令和5年3月28日(火)

集合：水元かわせみの里 水辺のふれあいルーム

受付：令和5年4月1日(土)まで電話で受付し、応募者より抽選。

※ 野外での観察もありますので、動きやすく、濡れてもよい服装と靴でお越しください。  
※ 小学3年生のお子様は、保護者同伴でお願いします。



ホトケノザ

身近な春の植物を探し、五感を使って楽しむ”感”察についてご案内します。

## イベント・ガイドウォーク

葛飾区子どもまつり 令和5年4月30日(日)  
午前9時30分から午後3時まで

区内の青少年育成に関わる様々な団体が参加するイベントです。水元かわせみの里は、移動生きもの園などを行います。



ガイドウォーク 1回目 11時から30分間  
2回目 13時30分から30分間

専門員が水元かわせみの里周辺を解説しながらご案内します。ボランティア活動日には、ボランティアさんが野草園を案内します。



## 水元かわせみの里とは (水元小合溜水質浄化センター)

水元小合溜の水辺環境を、豊かな生きものが生息していた昭和30年代前半の頃のように戻すために作られた、水質を浄化する施設です。施設内にある水辺のふれあいルームでは、専門員による解説や講座、様々な展示やイベントなどを通して、周辺の自然や歴史、水質浄化の取り組みなどについて楽しく学ぶことができます。



■ 開館時間・・・9時から17時30分(4月から10月)、9時から16時30分(11月から3月)

■ 休館日・・・月曜(祝日の場合は、その直後の平日)

■ お問い合わせ・・・水元かわせみの里 03(3627)5201 東京都葛飾区水元公園8番3号

■ 交通 京成バス 水元公園循環バス(3月から11月の土日祝のみ) 金町駅南口←→戸ヶ崎操車場・八潮駅南口 (金61系統)  
金町駅南口→水元公園→金町駅南口  
水元かわせみの里下車 徒歩1分 水元五丁目 または 大場川下車 徒歩5分

※ お車で越しの際は、水元公園有料駐車場をご利用ください。



葛飾区公式HP



フクロ



Facebook



Twitter

## 水元かわせみの里

# 水辺のふれあいルーム通信

令和5年 3月20日  
(通算第192号)



水元小合溜の生きもの：182

## ユキヤナギ

バラ科 シモツケ属

樹高 1~2m

花期 2~3月

『ヤナギ』とつくけど  
ヤナギじゃない?

遠目から見ると、まるで雪を被ったように花をつけ、ヤナギのように枝を伸ばすことから『雪柳』と名付けられました。ただ、実際にはバラの仲間  
で、ヤナギの仲間ではありません。



花からは、ほんのり  
甘いような香りがします。



## 枝全体が花粉・花蜜レストラン

春一番に、枝いっぱい小さな花をたくさんつけるので、花粉や花蜜を求めて、多くのミツバチやハナアブの仲間などが飛来します。



▲ナミホシ  
ヒラタアブ

クロ  
ヒラタアブ▶

◀ニッポン  
ヒゲナガ  
ハナバチ

# 発見!お散歩隊がゆく

日々変わりゆく小合溜の自然を、お散歩隊が見つけて紹介します!



2/23 **ベニマシコ** 「かわせみの池」の周囲に生えるセイタカアワダチソウの実を食べていた。



2/25 **ハイタカ** 「かわせみの池」のほとりの木の中で休んでいた。オオタカよりも小型で肩斑(びはん)が薄い。



2/28 **コガタリハムシ** 桜土手でギシギシの葉を食べていた。成虫は土の中で冬を越すため、春先すぐに見られる。



2/21 **ナナホシテントウ** 日当たりのいい草地で、草の上を歩き回り、食べもののアブラムシを探していた。



2/21 **オオイヌノフグリ** 日当たりのいい草地で小さな花を咲かせていた。花にはハエやアブの仲間がよく訪れる。



2/21 **コハコベ** 日当たりのいい草地で小さな花を咲かせていた。別名にハコベがある。



3/7 **カワツザクラ** 水元かわせみの里の近くに一本だけ見られる。満開の花に、様々な野鳥や昆虫が訪れていた。



2/26 **ヒメタニシ** 野草園のカエル池をかいまわりした際に多数見られた。



3/2 **カワセミ** 水元かわせみの里に設置してある営巣壁に巣穴を掘っていた。発見時には既に大きな穴が空いていた。

2 ● 写真を撮った場所を地図上に示してありますが、他の場所でも見られます。皆さんもぜひ見つけてみましょう。

## 専門員コラム 「見続けると見えてくる、カワセミの個性」

水元かわせみの里では毎年、この時期になるとカワセミ(9)の繁殖行動が見られます。今年も、3月2日にオスのカワセミが営巣壁に巣穴を掘っている様子を確認できました。

しかし、その様子はいつも同じというわけではありません。なぜなら、一見同じに見えるカワセミにも、それぞれ個性があるからです。昨年のカワセミは活動的で狩りにも積極的な個体でしたが、今年のカワセミはとにかく“寡黙”で目立つことを嫌います。飛来する時もまず鳴くことはなく、その目立たなさたるや、営巣が始まっていたことに専門員がなかなか気付かなかったほどです。ペアとなるカワセミも同様に個体ごとに性格が異なり、一昨年のカワセミは夫婦協同で巣穴を掘っていたのに、昨年お嫁に来たメスのカワセミは、ちっとも巣穴掘りに参加しようとしなかった個体でした。今年ペアとなったメスのカワセミは、一体どんなカワセミでしょうか?

カワセミはなわばりを作るため、定点での継続観察がしやすい野鳥です。ぜひ、一度きりの出会いでなく、何度も飛来するカワセミをじっくりと観察してみてください。きっと、人と同じように、個性あふれるカワセミたちの豊かな表情が見えてくると思います。(野間)



# ボランティア活動報告

## 野草園のかいぼりと、池の改修を行いました！

2月26日から3月9日にかけて、野草園のカエル池の改修を、キッズボランティアとボランティアが協力して実施しました。2月26日に池のかいぼりを行い生きものたちを救出したあと、3月9日に池の底に敷いたシートを掘り起こし、以前よりも少しだけ大きな池へと作り変えました。



野草園の池の泥をすくい、生きものを救出する様子。



すくった泥を落として、網の中にある生きものを探す様子。



野草園の池のシートを掘り起こす様子。



改修後の、以前よりも大きくなった池。

## ボランティア募集

水元かわせみの里ボランティアは、活動を通して、ボランティアの方々が地域への愛着を育み、ひいては地域の発展へ貢献することを目標とします。地域の自然保護活動や、来館者へのクラフト教室など、やりがいをもって参加していただける活動がたくさんありますので、気軽にご参加いただきたいと思います。

- 活動内容 水元かわせみの里周辺の美化活動や、水辺のふれあいルームの管理等補助作業  
ガイドウォーク等の補助作業、ボランティア研修会の受講  
葛飾区子どもまつり、環境・緑化フェアなどへの参加
- 募集期間 随時募集しています
- 対象 18歳以上の方(原則)
- 活動日 月4回程度(定例活動日 第1、3土曜日、第2、4木曜日)
- 申し込み・お問い合わせ 水元かわせみの里 03(3627)5201

# 学校等団体利用のご案内

水元かわせみの里には、水元小合溜の歴史や自然の解説を行う専門員がいます。総合的な学習の時間、理科、社会科、生活科などの学習にぜひご利用ください。

### 総合的な学習の時間



植物の葉っぱと種の観察

水元小合溜周辺の身近な生きものや、環境、歴史について楽しく学びます。水質浄化センターの見学なども可能です。

### 職場体験受け入れ



中学生職場体験

施設周辺の美化活動、施設内の管理作業、生物の調査、ガイドウォークの補助など、様々な体験が可能です。

### 自由研究の補助



虫とのキットを作る

水辺の生きもの調査、図鑑作りなど、様々な内容の自由研究のイベントを行い、夏休みの児童への、学習のサポートをします。

## その他、主な団体利用の内容

- ・生物関係のクラブ活動の補助
- ・大学、専門学校の実習の受け入れ
- ・福祉系団体への自然解説
- ・歩こう会など、各種団体への自然解説

※バスでの来館のご希望や、ガイドの時間・内容などの詳細については、ご相談ください。  
※団体利用に関するお問い合わせは、水元かわせみの里窓口、または電話(水元かわせみの里 03-3627-5201)まで。

# 野草園だより 見頃の生きもの 3月編

水元かわせみの里の裏手にある小さなビオトープ「野草園」。様々な生きものが暮らすこのビオトープで見られる、ステキな生きものをご紹介します。

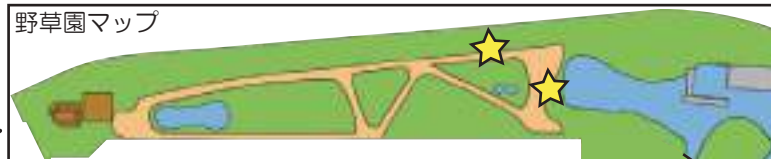
## 3月の見頃

### トサミズキ(マンサク科)

元々は土佐(高知県)に自生していたことから、『土佐水木』と名付けられました。  
春の新葉が出る前に、枝からぶら下がるように黄色い花を5~8輪ほど連ねて咲かせます。似た樹木にヒュウガミズキがありますが、連なる花が2~3輪ほどである点で見分けられます。



### 野草園マップ



見られるポイントはココ！